

信州高遠星空観察会③

令和7年2月22日(土)～23日(日)

【対象】星空観察に興味のある家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

各種望遠鏡を使って、高地特有のきれいな星空を観察し、宇宙や自然への興味関心を高める。

2. 事業の概要

(1)期 日 令和7年2月22日(土)～23日(日)

(2)参加者 宿泊13グループ 50名(保護者21名、小学生22名、未就学児7名)

日帰り2グループ 6名(保護者3名、小学生2名、未就学児1名)

※申し込み後のキャンセル、宿泊1グループ4名。

(3)日 程

	18	19	20	21	22	23
2/22 (土)	※夕食を済ませてからご参加ください。	受付	開会挨拶	星空観察 天体の説明・観察 300mm天体望遠鏡による観察	入浴	就寝
					※日帰り参加者は帰宅	
	6	7	8	9	10	11
2/23 (日)	起床 身支度 清掃	朝のつどい	朝食	清掃 荷物整理	退所点検	星や星座をテーマにしたクラフト活動
						閉会挨拶

3. 企画運営のポイント

- ・専門的な知識や300mm反射望遠鏡を扱う技能をもっている指導員に講師を依頼し、星空の観察を行うことで、肉眼や双眼鏡などでは見ることが難しい星の様子を観察したり、参加者の星や天体、宇宙に関する見識を深めたりすることをねらった。
- ・パラソル星座早見盤づくりを行う上で、既定の方法にとらわれず、未就学児にも楽しんでもらえるように、「宇宙や天体」をテーマに自由に絵をかいてもらうなど、汎用性を重視してクラフト活動を展開させた。
- ・星空観察会の事業では、曇りや雨天の場合には星空が観察できないため、日帰り参加者が当日キャンセルしてもキャンセル料金が掛からないように配慮した。

4. 参加者アンケートより

- ・良かったです。星座の勉強になりました。
- ・もっと実際の星空を見る時間があればよいと思います。
- ・クラフト体験で、作品をほめてもらえてうれしかった。
- ・木星がみられて良かった。なかなかないチャンス！
- ・クラフトは、作りたいと思っていたものだったので、うれしかった。
- ・非常に安価でボリュームのある内容に親子共々大変満足です。
- ・全体の時間が1時間早いとありがたい。

5. 事業中の様子



6. 成果と課題

(1) アンケート結果 回収15グループ (回収率100%)

事業全体を通して	満 足：10グループ	66.7%
	やや満足：5グループ	33.3%
	やや不満：0	0%
	不 満：0	0%

(2) 成果と課題

- 第1、2回に実施した星空観察会の反省を踏まえ、担当者間で情報を共有しながら運営することができた。
- 参加者の人数が多かったため、講師と時間枠やローテーションなどについて事前に確認・共有することができた。
- クラフト時、参加者が不意に暖房器具と接触しないよう、配置に留意し、また、事前にセーフティトークを行い、保護者に協力を求め、安全管理の徹底を図った。
- 口頭だけのアナウンスではなく、張り紙やホワイトボードによるインフォメーション、しおりの内容の充実など視覚的な指導・助言に努め、参加者から「とてもわかりやすかった」と好評をいただいた。
- 講師の話が専門的なので、年齢に相応しい講義内容やプログラムを提供する必要がある。
- 参加者から「外で星を見る時間をもっとあれば良かった。」「天体望遠鏡で星を観察する時間が短いのが残念。」という感想が多かったため、適正な参加者人数や活動内容について検討する必要がある。特に、晴天時は、屋外での星空観察をメインに実施するなど、高遠の環境や立地を生かした事業を展開できるような計画を立てる。
- 時間的なゆとりをもって運用するために、前年度踏襲型の流れを払拭し、時間割や活動内容について再構築する必要がある。特に、活動と会場移動、施設の使い方等のアナウンスの時間を確保するなどして、未就学児や小学校低学年の子どもたちがゆったり活動できるように配慮が必要である。